

JCCP アラムコ共催シンポジウム
2024年10月3、4日(コンラッド東京)

JCCP アラムコ共催シンポジウムは、昨年からの社会実装に向けた動きを踏まえ、『低カーボン社会に向けた挑戦と可能性-技術とイノベーションの役割』と題し、水素、メタノール、アンモニア、樹脂リサイクル等を含め、生産から消費までのエネルギーバリューチェーン全体を包含する形で開催した。

5 セッションとパネルディスカッションから構成され、セッション 1「政策・需要見通し」では経済産業省や日本エネルギー経済研究所、KAPSARC による概観が示され、セッション 2「持続可能な未来に向けたエネルギーイノベーション」では石油元売り各社やアラムコの R&D による最新成果が示された。セッション 3「持続可能なモビリティ転換を目指して」では、陸海空の需要家や大学関係者による製造と消費の視点からの議論がなされた。セッション 4「持続可能なエネルギーの未来に向けたエンジニアリングソリューション」及びセッション 5「低炭素社会への道を開く技術的要素」では、エンジニアリング各社や重工各社、化学関連企業の最近の取組が紹介された。パネルセッションでは、8 名のパネリストが「低炭素社会に向けた政策と技術革新」と題し、低炭素社会への挑戦と機会について、幅広い議論を展開した。

会場には、石油元売り、石油化学、船舶関連、AI・DX 関連、エンジニアリング、重工、自動車など大手企業、大学や研究機関等から、のべ 430 名を超える参加者が集まり、コーヒープレイクやレセプションの時間も活用して多くの交流が行われた。

生の情報交流の場としての本シンポジウムが、低炭素社会実現に向けた日本とサウジアラビアとの新たな協創活動が生まれ、良好な両国間関係を一層強化するとともに、両国が抱える課題の抽出と解決への一助となることが期待される。



【参考①】来賓挨拶する和久田 肇 経済産業省資源エネルギー庁資源・燃料部長（右上写真）

【参考②】アハammad O. アルコウエイター氏（Executive Vice President, Technology & Innovation, Aramco）の挨拶（和文）

https://japan.aramco.com/ja-jp/news-media/news/2024/1002_speech-by-ahmad-o-al-khwaiter-aramco-jccp-symposium